

そくゆセラピー協会認定 そくゆ(足癒)セラピス

足を使う施術「そくゆ」の技術を認定 自宅での開業も可能に

編集長の注目ポイント

そくゆセラピーは特別な器具を揃えが必要なく小スペースで開業できるため、資格取得者にとって開業時の負担やリスクが小さいことが特徴。そのため、副業として始めたり、自宅

で開業する主婦の方も多いいらっしゃるよう取得には名古屋にある協会指定のスクールで必要がありますが、遠隔地の人向けに8日間期集中コースが開講されているなど、希望者に即したサポートがあることも特色です。

主催団体 そくゆセラピー協会

受験資格 協会指定のスクールで所定のコースを修了した者

目安となる取得期間 8日間～3ヶ月

どんな資格?

そくゆセラピーとは、「足圧」で筋肉を踏んだりさすったり、揺らしたりするなどして全身を刺激する施術法。自然治癒力を高めて肩こりやむくみ、冷えなどさまざまな不調の改善をめざす。資格は、そくゆセラピー協会が認めた。

どう学ぶ?

協会指定スクールの所定のコースで学ぶ。骨格と筋肉、人体の構造、心と身体の関係など幅広い知識と、顧客の状態に合わせて適切な施術ができる技術を習得。コース修了時に資格認定試験(実技・筆記)を受験し、合格すれば資格を取得できる。

どう稼ぐ?

活躍の場は癒しのサロン、ティックサロン、美容室など。独立開業も可能。人が横になれる施術ができるので、自宅を開いたり、出張専門で活動しても多い。心のケアの分野でも需要が



顔や頭など、全身をくまなく施術。「特に強い力が必要としないで、体力的な負担はありません。90歳になつても頑張りたい」と田中さん

そくゆセラピーとは、「足圧」で筋肉を踏んだりさすったり、揺らしたりするなどして全身を刺激する施術法。自然治癒力を高めて肩こりやむくみ、冷えなどさまざまな不調の改善をめざす。資格は、そくゆセラピー協会が認めた。

協会指定スクールの所定のコースで学ぶ。骨格と筋肉、人体の構造、心と身体の関係など幅広い知識と、顧客の状態に合わせて適切な施術ができる技術を習得。コース修了時に資格認定試験(実技・筆記)を受験し、合格すれば資格を取得できる。

手に職をつけて、生涯現役をめざしたい。そんな夢を叶えようと、48歳でそくゆセラピストの資格を取得了した田中さん。以前は会社員。2人の子をもつシングルマザーで、女手ひとつで家計を支えてきたのだが、50歳を前に「このまま、私の仕事人生が終わってしまっていいのかな」と考えるようになった。

そんなある日、手にした「稼げる資格」が転機につながった。目にとまつた資格がそくゆセラピスト。「足で施術をする技術の資格となり、新鮮な驚きがありました。もともと施術系の仕事には興味があつたし、自宅で少ない資金で開業できることも魅力でした」。しかし、田中さんは群馬県在住。スクールは名古屋にあるので、決心がつかなくて悩んだというが、子どもたちから「ママ、頑張って勉強して!」と励まされて決断。短期集中で学べることもあり、スクールへ。8日間コース(4日間を2回)で学び、資格を取得した。

**自宅でサロン開業
月収40万～50万円の目標に近づいている**

資格を取得後、会社勤めを続けるながら友人知への施術で経験を積み、技術を磨いた。15年6月、会社を辞めて自宅の一室で念願のサロンを開業。口コミやホームページで集客し



田中美奈子さん(52歳)

子育てと仕事の合間にねってスクールで学び、12年6月に資格取得。15年6月、群馬県太田市の自宅で「そくゆセラピーシオン」を開業。出張施術も行う。

**お役に立てる喜び。
資格を取つて、天職を手に入れ、輝きのある第一の人生です。**

リピーターも増えてきているという。現在、お客様の大半は女性で、肩こり、腰痛から冷え性、産後の体調不良のケアまで、さまざまな不調に対応している。「施術中は私の足が耳となり、目となつて、お客様の身体の状態を感じながらひたすら集中できてくれた人もいる。『いい技術ですね、資格を取つてよかったです』と。だからこそ、プロとして收入も上げていきたい」と言う。「目標は月収40万から50万円ですが、達成できそうですね。将来はスクールの師範コースで学び、教室も開けるようになります」。資格を取つて、第二の人生を好きな仕事で頑張れる幸せをたぐり寄せた田中さんだ。

取材・文／小林裕子 (小林編集
撮影／田中)

そくゆ (足癒) セラピー

でそくゆセラピストをめざす。

東海北信越

ハガキ・FAXで
資料請求(無料) ▶ 90041
ケータイでもカンタン資料請求▶



短8日間でプロに。
1宅の一室で道具いらずの
・額開業が目指せる！



与える程度の力でフットストレッ칭（足圧）を行うため、強い力は必要ない。老若男女誰でも楽しめる施術で、身体に負担なく続けることができる。独立に必要なスペースも一部屋あれば十分

塗の特徴

行者自身の健康にもつながる
行。独立費用も少額でOK

筋肉を踏んだり、さすったり、揺らした
さまざまな刺激を与えることで、自然治癒
ボタンにスイッチが入りやすくなるのが
「ゆ」の技術。自然治癒力が高まると、無
く健康な身体へと改善されていく。そくゆ
い力を必要としないため、施術する側の身
も負担がかからない。施術をする方もされ
ば、健康な身体づくりに役立つ技術。実際、
性別問わず幅広い層の受講生が学んでいる。



講師：山口弥生先生
14年前から施療院とスクールをスタートし、1年で1,000人以上、延べ16,000人以上踏み続けてきた。「働きながら娘を一人で育てあげてきた『そくゆ』の技術で、働くママを応援できたら嬉しいですね」

Topics

無理なく学べる、宿泊(無料)も相談可能！

北は青森から南は鹿児島まで、全国各地の方が宿泊施設を利用し、「8日間の短期集中コース」を受講している。通い方もそ



topics

卒業後のアフターフォローも充実

就職時のサポートはもちろん、独立の際にはメニュー作りや技術チェック等をアドバイス。わからないことはいつでも電話で相談できる。卒業生が常に出入りしている教室は、情報交換などの交流も活発。アットホームな雰囲気の中、先生が全面的に協力してくれる。



topics

先生に直接質問できる電話相談が可能！

●アクセス/地下鉄東山線「星ヶ丘」下車、市バス梅森駅行き「高針」下車、徒歩3分*アットホームで個室を大切にしているのが、多くの特徴

卷一

053-705-1231

名古屋市名東区牧の里2-505
[HP] <http://sokuyu.com>



そくゆ（足癒）セラピスト

資金や道具は必要なく、家庭と両立しながらマイペースで働けるのがこの資格の魅力です。

どんな資格？

そくゆセラピーとは、「足庄」で筋肉を踏んだりさすったり、揺らしたりするなどして全身を刺激する施術法。自然治癒力を高めて肩こりやむくみ、冷えなどさまざまな不調の改善をめざす。資格は、そくゆセラピー協会が認定。

どう学ぶ？

協会指定スクールの所定のコースで学ぶ。骨格と筋肉、人体の構造、心と身体の関係など幅広い知識と、顧客の状態に合わせて適切な施術ができる技術を習得。コース修了時に資格認定試験（実技・筆記）を受験し、合格すれば資格を取得できる。

どう稼ぐ？

活躍の場は癒しのサロン、エステティックサロン、美容院など幅広い。独立開業も可能。人が横になれるスペースがあれば施術できるので、自宅の一室でサロンを開いたり、出張専門で活動している人も多い。心のケアの分野でも需要が増加中。

編集長の注目ポイント

ここがおススメ

そくゆセラピーの仕事は資金や道具の負担が少なく、小スペースで開業できるので、資格取得者のなかには主婦などのかたわらで副業的に活動する方も大勢いらっしゃるそうです。資格を取るには名古屋にある協会指定のスクールで学ぶ必要がありますが、遠隔地の人向けに8日間の短期集中コースの開講や、資格取得者に対する開業相談、フォローアップ研修の実施等、親身なサポートを行っていることも特色です。

の負担が少なく、年齢に関係なく続けられる。

の負担が少なく、年齢に関係なく続けられる。

宣伝チラシを作り、近所のスーパーへ営業に。集客につながった

資格取得のきっかけは人それぞれ。中山さんは、長年の夢だった田舎暮らしをするために、夫とともに移住を決意したことがきっかけになった。当時は美容院で美容師をしていましたが、新生活の準備のために退職。「美容師もやりがいのある仕事でしたが、移住先では田舎暮らしを楽しむなくて、働く時間の調整がしやすい仕事をしようと考えました」。そんなとき、出会ったのがそくゆセラピーだった。「そくゆセラピストの女性が、知人の美容院に出張して施術をしていたのです。そこで施術

「そくゆの施術を受け、「これだ！」と確信。資格を取ろうと決めた

を受けてみたらす」「よく気持ちがよくて、感動しました」。施術をしてくれた女性からスクールで技術を学んで資格を取れば仕事にできることや、自分のベースで働けると聞き、「これだ」と確信。田舎暮らしに踏み切る前に資格を取ろうと決めた。

あつたというが、勇気をふりしぶり、近所のスーパーに宣伝チラシを置いてもらえないかと頼んでみた。「応対してくれた女性店員が『そくゆって何？』と関心をもってくれ、お客様第一号になってくれたんです」。

そこからは口コミでお客様が増えていった。主に50代、60代の女性で、肩こり、腰痛、膝の痛みなどさまざま

な不調に対応している。「お客様に強い力を必要としないので施術者自身の体力がいる」と、中山さんは言います。自分の下など、全身をくまなく施術できる。特

調子が悪くなつて困る」と言つてた。だくときはす「くうれいです」。現在は1日2時間程度の出張施術で週3日稼働、月収は約7万円。「今のベースで満足していますが、そくゆのよさを多くの人に広めたい」という思いがあります。地域の人の健康作りに貢献できるようになりたいです」。夢だった田舎暮らしを実現し、ライフワークともいえる仕事をも手に入れた中山さんだ。



中山久美子さん(41歳)

13年9月に資格取得。主婦業のかたわら、15年1月に「そくゆセラピーKUKUNA」を開業。自宅のある三重県津市白山町と周辺地域を対象に、出張専門で活動。

主婦業の合間に出張で活動。理想の働き方が叶つたうえ、不調に悩んでいる人の役に立てる充実感があります。